市政報告
Vol.44

みんなの校庭プロジェクトとバスケゴール設置推進

川崎市議会議員　矢沢たかお

2月27日から3月17日の会期で令和5年市議会第1回定例会が行われました。今回は、予算審査特別委員会で取り上げた中から、市内の公園と小学校におけるバスケットゴールの設置拡充についてご報告いたします。

条件合致は13公園のみ

鷺沼公園において、宮前区初のバスケットゴール設置に向けた実証実験が進んでいます。令和5年度予算では、本格的な整備に向けた予算が組まれました。

他の公園等への拡充も期待されますが、公園の管理面積や隣接する住宅との距離が一定以上離れていることなど設置の条件があり、条件に見合う公園は市内13カ所に留まります。私は、条件に最も合致している公共施設は小学校と考え、市議会で学校施設有効活用事業「みんなの校庭プロジェクト」との関連性について質問しました。

同プロジェクトは、公園で禁止されることが多いボール遊びの場などを確保するため、都市化が進む市内において校庭開放を推進する取り組みです。各区モデル校での取り組みが行われてきましたが、令和6年度を目標に原則全校で校庭開放が進みます。昨年実施した「こどものやりたいことアンケート」では、半数の児童が「ボール遊び」を選び、種目でも「バスケットボール」が上位となるなど、高いニーズが確認できました。

42小学校が未設置

教育委員会に市内114小学校の校庭におけるバスケットゴール施設の設置状況を確認したところ、42校において設置がされていない事実が判明しました。校庭のバスケットゴールは、学校と協議しながら決定する設備で、各校で設置状況に差が生じているとの答弁がありました。

全市的にバスケットゴール設置を進める理由、公園への設置の難しさ、みんなの校庭プロジェクトの目的、子どもたちがやりたいボール遊び方向性を考慮し、将来的な全小学校での設置拡充を求めました。教育長からは「バスケットボールを含め、様々な遊びの中から子どもたちがやりたい遊びを自ら選択できる環境を可能な限り整えることが重要。設置の考え方や手法等について、学校の状況に応じて検討していきたい」と前向きな答弁が得られました。

年代問わず楽しめる公園への設置推進については継続しながら、開放に向けて進んでいく小学校校庭におけるゴール設置を進め、地域の中で気軽にバスケットボールを楽しめる環境を構築していきたいと思います。

矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ（37歳）
菅生小、菅生中卒／法政大学第二高等学校卒／法政大学情報科学部卒／商社系ＩＴ企業
2019年4月2期目当選
宮前区初山1-20-12
Tel 044-976-2727
矢沢たかお　検索